News Release

2021.10.11

桜テラス第 2 号、10 月竣工～年内グランドオープン予定！

株式会社シノケングループ（東京本社：東京都港区、代表取締役社長：篠原英明、東証ジャスダック市場　証券コード 8909、以下、グループ全体を総称して「シノケン」という。）のインドネシア現地法人である PT. Shinoken Development Indonesia（以下、「SKDI」という。）が同国の首都ジャカルタの中心部で開発するサービスアパートメント、桜テラス第 2 号の竣工、オープンの予定についてお知らせいたします。

外観完成予想図

内観完成予想図

ジャカルタ中心部で開発するサービスアパートメント

桜テラスは、シノケンが日本国内で展開するアパートメントシリーズ「ハーモニーテラス」をインドネシア向けにローカライズし、用地仕入～設計～施工～入居・宿泊運営まで、独自に確立した垂直統合モデルで提供するサービスアパートメントです。2020 年には、日本ではお馴染みの「ロフト付きの居住空間」の意匠（デザイン）が、インドネシア政府に知的財産として公式に認定されました。

2019 年竣工の桜テラス第 1 号（ニュースリリースはこちら）に続く今回の物件は、10 月中に竣工予定で、竣工後は、引渡しに伴う建物検査、家具家電の搬入、スタッフの教育とオペレーション準備等、年内のグランドオープンを目指して準備を進めてまいります。

物件のロケーションはジャカルタの中心部、日本でいう新宿・渋谷のような活気のあるエリアで、最寄り駅は徒歩約 10 分、現在計画中の LRT（軽量軌道交通）が開通すれば、その新駅からもアクセス可能となります。マンスリー／デイリーの両方で利用可能な家具家電付きのサービスアパートメントとして、1 泊からの出張利用からマンスリーや長期ステイまで幅広い顧客をターゲットとした運営を計画しております。

自社保有・運営でコロナ禍の状況下でも黒字を維持
REIT への売却という出口シナリオも

桜テラス第１号はコロナ禍の前は８ヶ月連続での満室運営の実績があり、足元ではコロナ禍により、外国人を中心としたお客様が減少する中でも一定の需要は絶えず、黒字経営を維持しております。立地とデザインの良さによって実証された根強い人気、そして今後の安定稼働を見込み、今回の桜テラス第２号に続く第３号、第４号以降も着々と準備を進めております。

シノケンは今後も、ジャカルタにおける桜テラスの保有・運営による収益を計上し、外資系でインドネシア唯一の REIT ライセンスホルダーとして、REIT への売却という出口シナリオも描くことができます。将来的にはより規模の大きい物件の開発も視野に、海外事業がシノケンの事業ポートフォリオにおいて存在感を示すセグメントとなるよう、注力してまいります。

【物件概要】

土地面積	512 ㎡
構造／階数	鉄筋コンクリート造　地上４階、地下１階、屋上テラス
部屋タイプ	ロフト付ワンルーム
総戸数等	60 戸・駐車場 17 区画

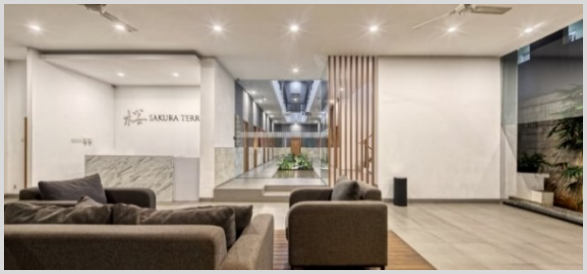
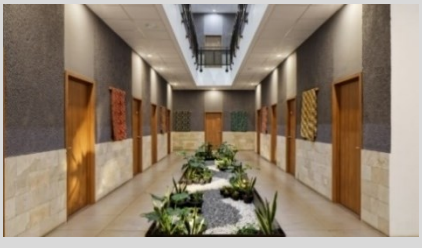
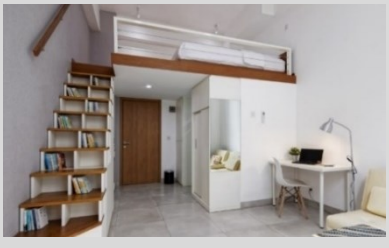
【今後のスケジュール】

- 2021 年 10 月：桜テラス第２号竣工
- 2021 年 10 月～12 月：桜テラス第２号建物検査、家具家電搬入、スタッフ教育等の準備
- 2021 年 12 月：桜テラス第２号グランドオープン、実稼働開始
- 2022 年４月　：桜テラス第３号竣工予定

【関連する SDGs】

- 現地の雇用創出
- 都心における土地活用
- ジャパンクオリティの建物施工

【桜テラス第１号の写真】

シノケンは、お客様の生涯を通じて価値を提供する
「世界中のあらゆる世代のライフサポートカンパニー」をビジョンに掲げ、
人生 100 年時代を見据えた資産づくり、ゼネコン、エネルギー、高齢者・障がい者施設の
運営、不動産ファンドと、国内外で幅広く事業展開しています。
また、REaaS*で人々や社会の課題を解決してまいります。

* "Real Estate as a Service"（不動産のサービス化）

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社シノケングループ　グループ広報 IR 室

福岡市中央区天神一丁目 1 番 1 号　TEL　092-714-0040　FAX 092-714-0064
WEB https://www.shinoken.co.jp/　MAIL skg_pr@shinoken.co.jp